

## 血液透析用内シャント拡張術（VAIVT）における

「ML バルーンカテーテル ルミショーター」（ルミショーター）の

### 適応と有用性

長崎腎病院

○小嶋幸徳 大山智之 白濱美和 澤瀬健次 李 嘉明 佐々木修 一ノ瀬浩  
船越 哲 原田孝司

#### 【目的】

近年臨床適用となったショートタイプのルミショーターは、シース内蔵ガイドワイヤー（0.025Fr）対応であり、かつ 25cm と短いため、内蔵ガイドワイヤー進入の直後に拡張術に移ることができる。一方、シースから離れた個所の狭窄には対応できない。この利点と欠点を踏まえ、当院におけるルミショーターの適応と有用性を検討した。

#### 【対象・方法および結果】

対象は 2014 年 9 月から 12 月まで当院で VAIVT を施行された 62 名であり、16 名（25.8%）においてルミショーターが使用された。所要時間はルミショーター・その他バルンで  $30.9 \pm 13.92$  分、 $42.0 \pm 18.10$  分と、有意にルミショーターで短かった（ $p=0.03$ ）。血管損傷などの事故はみられなかった。

#### 【考察】

当院透析患者における VAIVT では、ルミショーターで約 1/4 が対応可能であり、所要時間は他バルンより有意に短く、安全に施行可能であった。